

MICHAEL PETTIS

LONDON
SPEAKER
BUREAU

- Professor of International Finance at Peking University's Guanghai School of Management
- Senior Associate at the Carnegie Endowment for International Peace



マイケル・ペティスは、北京大学光華管理学院の国際金融学教授であり、カーネギー国際平和財団の上級研究員です。彼の仕事と研究は、中国の金融政策、貿易政策、銀行および金融市場の発展に焦点を当てています。

ペティス氏は現職に就く前、ウォール街で銀行家およびトレーダーとして15年間、コロムビア大学ビジネススクールの非常勤教授として9年間、北京の清華大学経済管理学院の教授として3年間勤務した。

2001年に中国に移住する前は、ベア・スターンズのマネージング ディレクターを務め、負債管理およびラテンアメリカ資本市場グループを率いていました。またCSFB およびマニュファクチャラーズ ハノーバー (現 JP モルガン) で債券取引および資本市場デスクを率いていました。この間、メキシコ政府に国営銀行システムの民営化について、マケドニア政府に商業銀行債務再編について、韓国政府に 1998 年の商業銀行債務再編について、またラテンアメリカ諸国政府に債務発行戦略について助言してきました。

ペティス氏は、Foreign Affairs、Foreign Policy、World Policy Journal、Far Eastern Economic Review、Columbia Journal of World Business、Wilson Quarterly、Financial Times、The Wall Street Journal、Newsweek、Caijing など、数多くの主要定期刊行物に寄稿しています。また、金融、貿易、経済再編に関する著書も数冊執筆しています。

Topics

- Asia
- Banking
- Economics
- Financial